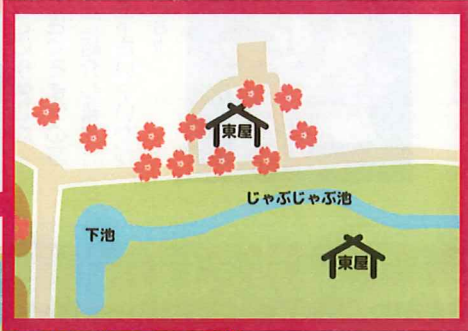


お弁当を食べながら お花見しましょ♪

4月！さくらの季節に向けて、今年も園内のさくらスポット情報をお届けします。さくらといえばお花見ですね♪園内を散策しながらさくらを觀賞してもよいですが…今回は「ご飯を食べながら」「ゆっくりと腰をすえ」「さくらを觀賞する」そんな場所に注目してご紹介していきたいと思ひます。



スポット① 山際道路脇の東屋

賑やかな場所から少し外れて、ゆっくりとしたいならココ！じゃぶじゃぶ池までは行ったことあるけどここは知らないかも!?と思う方も多いのでは？

スポット② 幼児広場・レストハウス

幼児広場とレストハウスの乳児室が近いので小さいお子さん連れでも安心♪お弁当を忘れても心配無用ですね。



さくら総本数 約350本

園内にあるさくらの種類は13種類。現在、こどもの国には約350本のさくらが植わっています。さくらの種類によって花びらの色や枚数も違いますし、開花の時期も違います。春のイメージのさくらですが、秋に咲くものもあるのを知っていましたか？ご紹介したスポットの他にも色々な場所でさくらを見ることが出来ますので、ぜひ違いを見つけてみて下さいね。

桜なんでもTOP3!

園内さくらランキング!スタッフ独自調べ!

※園内にある桜の種類のみでランキングしてあります。もっと色の濃いものや大きなものなど沢山存在します。

- ### 色の濃さTOP3
- 1 紅紫色
ヨウコウ
 - 2 紅色(白色もある)
シダレザクラ
 - 3 淡紅色
カワツザクラ



- ### 花の大きさTOP3
- 1 約5~6cm
シロタエ
 - 2 約4~5.4cm
オオシマザクラ
 - 3 約4~4.8cm
カワツザクラ

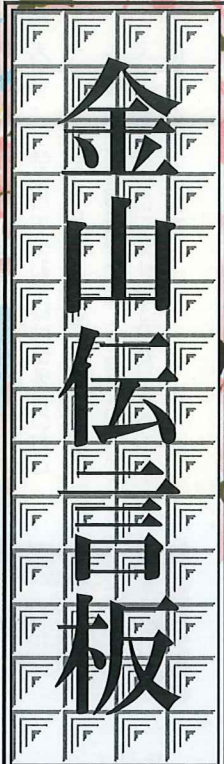


- ### 早咲きTOP3(3月始まり)
- 1 3月下旬
カワツザクラ
 - 2 4月上旬
ソメイヨシノ
 - 3 4月上旬
オモイガワ



ちなみに！園内に1番多い桜はソメイヨシノです！

ソメイヨシノ



第144号
発行 金山総合公園
編集 園長 三田芳夫
太田市長手町480
TEL 22-1448
http://gunma-kodomonokuni.jp
ISO 9001
ISO 14001
www.intlcert.com

折り紙で『かざぐるま』を作ろう!

記事担当：佐藤

今回は折り紙2枚を使用し、8枚羽根のよく回る『かざぐるま』作りを紹介します。風で回ると折り紙の色が混ざり合い、複雑でキレイな模様となり、時間を忘れ思わず見入ってしまいます。

この『かざぐるま作り教室』は毎回定員50名を大きく上回る大勢の方が参加し、大変人気のあるイベントです。

参加対象は小学生以下のお子様ですが、保護者の方も童心にかえり子供と楽しむことの出来るイベントです。



さて、実際どんな『かざぐるま』が完成するのか...! (ここに作製した『かざぐるま』の写真をご紹介します。ご覧下さい!! いかげんか!!

イベント当日は材料を用意してお待ちしておりますので、手ぶらで来園されても大丈夫です。小学生以下のお子様は保護者の方と一緒に参加下さいね。お待ちしております。

(次回開催は3月3日(土)・4月22日(日)です。開催時間は午後1時〜詳細はイベント情報を(ご覧下さい))

金山歴史山歩：金山の野鳥たち②



今回のテーマは「金山の野鳥たち②」です。こどもの園内で探鳥会が行われました。メンバーは参加者が27名、スタッフが4名の合計31名です。

エントランス広場で双眼鏡の使い方を一通りレクチャーし、スタートしました。ダイナミック広場でツグミ・ハクセキレイを見ていると、そこにモズとシメも訪れ、見る事が出来ました。

そこから山麓駅に歩いて行く途中でシジュウカラと、冒険のとりでの方向へ飛び去るツミが見られました。

山麓駅近くではメジロがシラカシの木に出入りしているのが見られました。その後、ダイナミック広場の外周道路からふれあい遊歩道を歩き、向かっていた下池では、マガモとカルガモを時間をかけて見る事が出来、湿生植物園でもアオジとシロハラが見られました。

さらに奥の上池に歩いて行くと、池にはたくさんマガモとカルガモ、更にはオナガガモ、コガモがいて、落ち着いて見る事が出来たようです。

また、派手なオスと地味なメスの違いの他に、各種カモのメスの区別のポイントを紹介したことで、それぞれのカモのメスの違いも分かって頂けたようでした。

上池から野鳥の森に入って行くと、青色がキレイなルリビタキが見られました。

そこからぐるりと山際道路を歩いて野外ステージまで戻り、その場で鳥合わせをして解散となりました。

結果、公園での探鳥会としては32種の鳥が見られました。

記事担当 金子

ぐんまこどもの国 里山コラム Vol.23

「樹皮上で冬を越す幼虫」 記事担当 羽賀

皆様こんにちは。春らしい暖かい日差しに変わってくるこの時期から、ホトケノザやオオイヌフグリ、ナズナなどの野花が咲き始めます。小鳥たちも春を感じ始めているようで、シジュウカラなどのさえずりが聞こえるようになってきました。

さて、そんな中、今回ご紹介する生き物は「コムラサキ」というチョウの幼虫です。

この幼虫はヤナギの木の樹皮上に裸一貫で冬を越す少しワイルドなイモムシです。その体を外に晒したまま冬を越すので、冬場必死になって餌を探す野鳥たちに食べられないようにする擬態技術は昆虫界屈指です。



上図↑をご覧の通り、樹皮とほぼ見分けがつかせません。私も探すのに必死でした(笑)

彼らは自分の食べ物になるヤナギの葉っぱが芽吹くまで樹皮上で芽吹きを待ちます。万が一葉の芽吹きよりも早く目覚めてしまうとご飯が食べられずに餓死してしまうからです。

この幼虫が寒い冬を乗り越え、今年の夏にきれいなチョウになってくれることを期待したいと思います。



3月、年度末ですね。春はもう、スグそこに来ているようです。お外でレッツ春探しです!

- 3日(土) かざぐるま教室
- 4日(日) 森の小さな動物たち
- 10日(土) 紙ヒコーキ教室
- 11日(日) スバルふれあい教室
- 自然と遊ぼう
- 14日(水) 自然観察会
- 17日(土) 金山歴史山歩
- 18日(日) コースターを作ろう
- 24日(土) エコキャンドル
- 28日(水) 自然観察会
- 31日(土) マジック&腹話術ショー



3月イベント情報